

岡山県障害者（児）施設サービス自主評価結果（公表用）

施設名： グループハウスおちあい

施設所在地： 岡山県真庭市下市瀬653番地

施設種別： 共同生活援助

運営主体： 社会福祉法人 慶光会

管理者： 守屋 史一

評価月日： 令和3年3月31日

評価項目（中項目）	評価結果
I-1 理念・基本方針	評価B 年度当初の会議で理念や基本方針を伝えているが、日々振り返りが出来るような取り組みには至っていない。
I-2 計画策定	評価B 計画の策定にあたっては、現在必要とされている課題や将来的に必要な能力を考察し、少しでも自立に近づけるように計画策定を行っている。
I-3 管理者の 責任とリーダーシップ	評価B 何かあればいつでも連絡が取れる体制を作っている。入居者の体調不良や困りごとなども、すぐに情報共有できるようになっている。
II-1 経営状況の把握	評価B 福祉情勢や地域のニーズの把握などは、法人として情報収集している。事業所として必要なことについては、デイセンターまにわとも共有し課題認識をしている。
II-2 人材の確保・養成	評価B 専門性の向上のため、法人全体で職員研修を行っている。今後は世話人の高齢化が課題となる中で、後継者の確保が必要となっている。
II-3 地域との交流と連携	評価B 地域の主催するイベントへの参加はコロナ過で中止が多く、なかなか参加出来なかった。今後は状況を見ながら交流を図っていきたい。

評価項目（中項目）	評価結果
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	<p>評価B 法人全体で人権擁護、虐待防止、プライバシー保護についての周知を図っている。 生活の場であることから、人権侵害や虐待には常に注意を払いながら支援を行うよう努めている。</p>
Ⅲ-2 サービスの質の確保	<p>評価B 世話人だけで足りない部分については、デイセンターまにわとも協力しながら支援を行っている。 世話人同士も日々の引き継ぎを行なうことで情報を共有し、支援の統一を図っている。</p>
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	<p>評価B サービス開始の際には、契約書、重要事項説明書等を提示し、丁寧に説明を行っている。</p>
Ⅳ-1 利用者に応じた個別支援プログラム	<p>評価B 入居者会議にて、それぞれの困りごとの把握を行っている。また、他者のいる場では話しにくいことは個別に相談を受け、ニーズを把握している。</p>
Ⅳ-2 日常生活支援サービス	<p>評価B 安心安全に過ごせることを第一に考え、日々の状況把握、情報共有に努めている。 また、それぞれが必要としている支援は異なるので、個々に合わせた支援を行っている。</p>
Ⅴ-1 生活環境の整備	<p>評価B 入居者が快適に過ごせるよう随時環境整備を行い、出来る限り住みやすい環境を整えている。</p>
Ⅵ-1 緊急時の対応	<p>評価B 緊急時対応マニュアルは、全職員に配布し周知を図っている。 また、入居者の方には管理者へいつでも連絡が取れるように連絡先を提示している。</p>
Ⅶ-1 就労意欲の醸成	非該当

* 着眼点の項目等を参考に、具体的な実施（達成）の状況や、未実施の場合はその理由など評価における根拠とともに、今後の改善計画（方針）なども記載してください。
* 「Ⅶ-1 就労意欲の醸成」欄は、授産施設のみが該当します。